

## 2018年成人式着付 競技要綱

### (1) 課題の内容

成人式用の中振袖の着付(六通または全通の袋帯使用)

及びセット、メイクを行う。帯結びは自由とする。

(成人式世代が憧れる着付、セット、メイクをすること)

### (2) 競技の方法

① セット・メイクの競技、ボディ補正、長襦袢着付までの競技、振袖着付・帯結びの競技 に分けて行う。

② 審査はヘア&メイク&着付のトータルで採点される。

② モデルは人体とし、プロ・素人は問わない。

③ ペアで参加も可。(3人は不可)

(競技中はモデルに選手一人しか接することができない)

(着付スペースには着付の選手のみしか入れない。同室内を間仕切りし、ヘアメイクスペースと分けてある )

### (3) 競技時間

控室にてヘアー・メイク・長襦袢…75分間

競技ステージにて着付・帯結び…25分間

合計…100分間

### (4) 競技用具の準備(選手が準備するもの)

① 中振袖(重ね衿または比翼つき)

④ 帯(六通または全通)

⑤ 履物(草履以外も可)

④ 長襦袢

⑤ 帯締め、帯あげ

⑥ ヘア用具一式

⑦ 化粧品一式

⑧衣裳敷き(120cm x 180cm以内)

⑨衣装箱 (通常の衣装箱及びそれに準ずる箱。

プラスチックの衣裳ケースや手さげ型の衣裳ケースは除く

※必ず持参し、縦4 cm×横6 4 cm×高さ1m目安とする)

⑩小物付属品

足袋・肌襦袢裾よけもしくはワンピース型の肌襦袢

腰紐 (5本～6本)帯枕・仮ひも (変結び用)・ボディ補正用具・

帯板 (2枚)カラーバンドクリップ類・伊達巻本 (長襦袢及び着物用)

⑪クロス、又はガウン。下は肌襦袢・足袋着用のこと。)

白のタオルをかける。

⑫その他装飾に各自使用するもの

(5) 禁止事項

① 競技中に選手同士またはモデル、観客と会話等をしてはならない。

またアドバイスも受けてはならない。

② 競技中道具の貸し借りをしてはならない。

③ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視員の指示に従わない等の行為は禁止とする。

④ かつら、の使用は認めないが、帽子の使用は認める

⑤ ものさし、メジャーの使用は認めない。

⑥ ブラジャー (和装用も含む) の使用は認めない。

⑦ 極端に完成されたボディ補正道具の使用は認めない。

⑧ ボディ補正のパットやタオルはとじ付けてあってはいけない。

ひも付きのおしりパットも不可。

⑨ 帯や着物などに糸印をつけておくことは認めない。

⑩ モデルが、ひも伊達巻、帯などを結ぶことは認めない(ただし、ひも帯

あげなどを、腕にかけたり、手に持つことは差し支えない。)

- ⑪ モデルが、袖、衿元、裾などを修正すること、衿合わせを押さえることは認めない。(ただしもとを持ち上げることは差し支えない)
- ⑫ 帯に形付けをしたり、帯結びの課程につながる過度のたたみ方は認めない。
- ⑬ 袖の板紙使用は、撮影時は良いが、競技の際の使用は認めない。
- ⑭ 帯飾りは認める。
- ⑮ 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
- ⑯ 着付中の助手の使用は一切認めない。
- ⑰ クリップを留めるための、ポーチや腰用のエプロンの使用は認めるが、タイム前にそれらにクリップを留めることは認めない。(スタート後はOK)
- ⑱ まつ毛エクステは禁止とする。
- ⑲ モデルがセットのブラシ・ピンなどを選手に渡すこと、メイクのブラシ・筆などを選手に渡すことは認める。
- ⑳ コーディネートに関する禁止事項は特になし

#### (6) 制限事項

- ① 控室、競技会場共に電源の設備はありません。アミカラー等は事前に巻いて控室に入場し、競技開始までに外しておく。

(メイクは下地クリームもしくはファンデーションから始めてもらいます。化粧水・乳液はつけておいてOK)

- ③ ヘアピース・アクセサリの使用は良い。

- ④ モデル自身による化粧施術は、競技中はもとより、控え室でも禁止する。

(アイテープ及びつけまつ毛を事前につけてきたり、競技中にモデルがつけることも認めない。)

## (7) 衣裳類の禁止事項

- 1 中振袖 ①身幅にアールをつけて胴部を絞った仕立ては認めない。  
②おはしより紙は使用禁止とする。  
③重衿は着物の衿に付けること。
- 2 長襦袢 ①衿は自由とするが、半衿は必ず縫い付ける。  
②後衿の力布はあってはならない
- 3 帯 ①ひだの折り癖がつけられているものは認めない。
- 4 小物 ①コーリンベルトの使用は認めない。

## (8) その他の注意事項

- ①履物を履いて審査を行い、審査中のモデルは、両手を軽く広げ、おはしよりが隠れないポーズをとる。
- ②アイロンはできない。(控室、会場の電源は使用不可)
- ③競技用具は、大会当日の朝、競技が始まる前に、監視委員が厳重に点検を行う。
- ④衿とじは、事前にやってくること。
- ⑥ タイムを計るためのタイマー、時計、携帯等は音の出ない物に限る。
- ⑦ 控室にはモデル及び出場者本人以外の立入りを禁止する。
- ⑧ 忘れものの申告は監視委員を通すこと。
- ⑨補正及びメイクに使うタオルも白に限る。